科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：こころの科学セミナー“社会・文化心理学の基礎” ILAS Seminar :Psychological Science Seminar "Basics of Social and Cultural Psychology"			担当者所属 職名・氏名	人と社会の未来研究院 教授 内田 由紀子 人と社会の未来研究院 准教授 中山 真孝		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	6 (6) 人	配当学年	主として１回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	人と社会の未来研究院 稲盛財団記念館1階セミナー室 (医・薬・病院構内)			使用言語	日本語
キーワード	社会心理学 / 文化心理学 / 感情と身体 / 自己と社会						

[授業の概要・目的]

こころとはなんだろうか？こころはどこにあるのだろうか？こころは個人の内にあるように感じられながらも、実際には他者や社会、文化や時代背景と密接なつながりをもっている。本セミナーでは、社会・文化心理学的観点から「こころ」のミクロからマクロまでの様相を研究し理解するとはどういうことか、個の心理プロセスがどのように「文化」や「社会」を生きることによって構築されていくのか、実証的研究の方法論を含めて学ぶ。具体的には比較文化研究のデザインや、実験や調査の行い方、適切な翻訳の方法論、データのまとめ方について体験を通して身につける。また、将来の専門分野で必要となるような統計的な知識、英語での文献講読についても実施する。

[到達目標]

社会心理学・文化心理学分野の基礎を体験的に学ぶことによって、こころについてミクロ的・個別的に捉える視座とマクロ的・俯瞰的に捉える視座の双方を身につける。

[授業計画と内容]

本セミナーは内田（社会心理学・文化心理学）、中山（認知科学・文化心理学）の2名が担当し、異なる視点を有機的に研究につなげるための議論を行いながら進行する。
第1回　イントロダクション
文化心理学の概要を説明する。授業の進め方と準備・発表の方法を周知する。

第2回～第10回　社会・文化心理学からこころを理解する比較文化の実際
・文化比較研究についての文献を講読し、議論をおこなう
・国際比較/地域比較調査あるいはデータの解析等を実施する

第11回～第13回　調査実習
社会・文化心理学の主要な手法である調査法を用いて実証的に研究するということを体験的に学ぶ

第14回　総括
それまでの授業での体験を振り返り、こころについてのミクロからマクロまでの見方について総合的に議論する。

第15回　フィードバック

ILASセミナー ：こころの科学セミナー“社会・文化心理学の基礎”(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：こころの科学セミナー“社会・文化心理学の基礎”(2)

[履修要件]

こころや自己、社会、文化についての関心をもって、上述の演習に積極的に取り組む意欲のある者。国際比較の実際を知るために外国人研究者とコミュニケーションや、受講者同士、教員との討論を行うため、他者と協力しながらコミュニケーションを積極的にとってみようとする心意気が求められる。ただし、決して英語が堪能である必要はない。

[成績評価の方法・観点]

演習への積極的な参加（60%）、期末レポート（40%）により評価する。

[教科書]

プリント配付

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に指示する参考書や参考文献を、事前または事後に目を通し、授業内容を確認すること。

[その他（オフィスアワー等）]

演習授業となるため、人数は6名を上限とする。

[主要授業科目（学部・学科名）]